

南九州

— MINAMIKYUSHU CITY —

議会だより

第 28 号

平成26年11月5日発行



川辺小学校 秋季大運動会

目次

- ・ 9 月補正予算…………… P 2 ～ P 3
- ・ 条例の制定・改正…………… P 4
- ・ 全員協議会…………… P 5
- ・ 決算認定…………… P 6 ～ P 7
- ・ 一般質問…………… P 8 ～ P 14
- ・ 意見交換会…………… P 15 ～ P 17
- ・ 市民の声…………… P 18



◎発行：鹿児島県南九州市議会

◎編集：議会広報編集委員会

◎発行責任者：菊永 忠行

TEL (0993) 83-2511・FAX (0993) 83-4658
ホームページ <http://www.city.minamikyushu.lg.jp>

振興費など補正

9月定例会

9月定例会は、9月2日から26日までの25日間の会期で開催されました。補正予算をはじめ、行政組織再編に伴う条例の制定、いじめ問題専門委員会条例の制定、25年度決算などが審議され、原案どおり可決されました。

一般会計の主な補正

補正予算の主なものは、茶業振興費や農業等災害復旧事業費など3億9821万円を追加し、補正後の予算総額を216億5398万5千円としました。

総務費

一般管理費

1069万1千円

平成27年4月からの組織再編に伴う課等の配置変更により、庁舎内部の改修及び事務用備品購入に要する経費である。

電算費

1265万3千円

組織機構再編や社会保障・税番号制度システム改修などに要する経費である。

地域伝統芸能継承者育成事業費

750万円

知覧ねぶた祭囃子奏者育成のための太鼓購入などが国庫事業採択された

ため、知覧ねぶた祭実行委員会に補助するものである。

衛生費

瀬娃浄楽苑管理費

1300万円

雨漏りが随所に発生したことから、屋根防水工事に要する工事請負費を増額するものである。



瀬娃浄楽苑

予防接種関係費

621万2千円

今まで任意接種だった成人用肺炎球菌及び水痘の予防接種が、平成26年10月から定期接種となることに伴い増額するものである。

審査の中で

問 成人用肺炎球菌接種の対象者は。

答 65歳から5歳刻みに100歳になるまでの人、60歳から64歳の心臓等の内部障害のある身体障害者手帳1級の人、本年度に限り101歳以上の人が対象となる。

民生費

温泉センター管理費

209万5千円

電気料金の値上げに対応するため、ふれあいセンターわくわく川辺、知覧温泉センター、えい別府温泉センターの指定管理料に電気料値上げ相当分を増額するものである。

農林水産業費

災害復旧事業費

3216万6千円

平成26年6月の梅雨前線豪雨で被災した農地及び農業用施設の復旧に要する経費である。

活動火山周辺地域防災営農対策事業費（茶業）

1億4738万9千円

17事業主体に摘採機能付除灰除去機25台が追加されたため増額するものである。

市有林管理事業費

317万5千円

川辺町清水の分収林立木売払いに伴い、市有林2・91ヘクタールに杉を植栽するための経費である。

松林保全事業費

273万4千円

長崎自治会付近の120本の松に薬剤注入を行うための経費である。

一般経費（水産業費）

250万円

広域漁場整備事業による魚礁設置と、漁港漁村活性化対策事業による大川港泊地の浚渫に要する経費である。



浚渫予定の大川港

土木費

住宅整備事業費

2425万6千円

浄化槽未設置の市営住宅に合併処理浄化槽を設置する経費及び老朽化し空家となっている市営住宅の解体に要する経費である。

災害復旧費・茶業



架け替え予定の平安橋

岩屋公園等管理費

706万2千5千円

電気料値上げ相当分の指定管理料の増額と老朽化により危険な状態となった平安橋をバリアフリー対応の橋に架け替えるための経費である。

～審査の中で～

岩屋公園管理費の平安橋架け替えについては、地域住民の意向にも耳を傾け、安心・安全な橋造りはもとより、岩屋公園の整備コンセプトや歴史的背景を考慮し、景観等への配慮も十分検討すること。

商工費

夢・風の里アグリランド
管理運営費

1325万2千円

風車を解体したことに伴い、九電から受電するための高圧引込分割化工事に要する経費や電気料値上げ相当分及び新たな電気引込契約に伴う負担金などを指定管理料に増額するものである。

教育費

額姪運動公園管理費

3600万円

経年劣化し、痛みが見られる運動公園駐車場の整備に要する経費である。

小学校施設管理費

840万5千円

青戸小学校屋内運動場屋根防水改修工事及び、川辺小学校のケヤキの樹勢回復復旧施工に要する経費である。

伝統的建造物群保存対策事業費

69万4千円

重要伝統的建造物群保存地区の歴史的景観の保全保護を図るために、建築物等の修理や災害復旧等を実施した所有者に助成するものである。

文化振興費（一般経費）

20万円

文化活動に伴い全国大会等に出場する個人・団体に対する奨励金に不足が生じたため、増額するものである。

教育総務費

51万8千円

いじめ問題専門委員会の開催に要する委員の報酬、費用弁償等である。

特別会計

国民健康保険事業

一般管理費

29万円

海外療養費の不正請求防止の強化を図るため、支給申請審査業務に係る委託料や、70才代前半の被保険者一部負担軽減措置変更に伴うシステム改修などに要する経費である。

一般被保険者保険税還付金

69万9千円

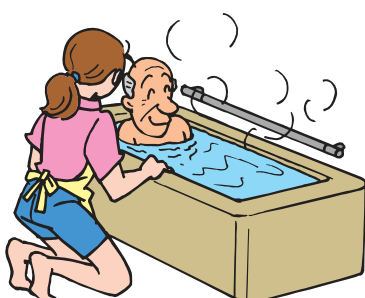
平成21年度から25年度に還付した一般被保険者国保税の還付加算金の取り扱いの誤りにより、未払いとなっていた還付加算金を補正するものである。

後期高齢者医療

一般会計繰出金

210万2千円

25年度繰越金のうち、広域連合へ納付すべき額を差引き、一般会計へ精算返戻するものである。



介護保険事業

介護給付費準備基金積立金

4456万1千円

介護給付費等の25年度精算に伴い、国庫支出金等の償還金、一般会計への繰出金に充当した繰越金の残金などを、介護給付費準備基金へ積立てるものである。

償還金

2087万2千円

介護給付費等の25年度精算に伴い生じた国庫支出金、支払基金交付金、県支出金の償還に要する経費である。

条例の制定・改正

額娃准看護学校の廃止

南九州市立額娃准看護学校条例を廃止する条例

南九州市立額娃准看護学校が本年度末で閉校することに伴い、平成 27 年 4 月 1 日付けで廃止する。



市役所の部制を廃止

南九州市課設置条例

南九州市における部制を廃止し、課を設置するため、この条例を制定する。

行政組織の再編

行政組織再編に伴う関係条例の整備に関する条例

課設置条例の制定に伴い、行政組織再編を行うことから、関係条例の整備に関する条例を制定する。

【平成 27 年 4 月から変更される主な再編】

- ・税務課・収納対策課が川辺庁舎から額娃庁舎へ
- ・3 庁舎にそれぞれ配置されていた畜産係を額娃庁舎に集約
- ・農林水産課が管理していた水産部門を商工観光課所管として、商工水産係を新設

加工施設の料金を統一

南九州市農産物処理加工施設条例

額娃農村婦人の家、川辺農業構造改善センター及び知覧農産物処理加工施設の使用料等を統一することに伴い、この条例を制定する。

いじめ問題対策

南九州市いじめ問題専門委員会条例

南九州市いじめ問題調査委員会条例

いじめ防止対策推進法に基づき、教育委員会の附属機関として南九州市いじめ問題専門委員会条例を制定する。

また、専門委員会の報告を受けた市長は、重大事態への対処または発生防止のため必要があると認めるときに、附属機関として調査委員会を設置するため、南九州市いじめ問題調査委員会条例を制定する。

●関係条例

南九州市いじめ問題専門委員会条例及び南九州市いじめ問題調査委員会条例の制定に伴い、「南九州市報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」を制定。

その他の条例

- 南九州市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
- 南九州市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 南九州市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

陳 情 / 不採択

◎川内原発再稼働の地元同意に係る陳情書

提出者：南九州市知覧町 日高 四郎

陳 情 / 採 択

◎ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願書

提出者：鹿児島市 古川 陽子

わが国のウイルス性肝炎患者は、350万人以上いると推定され、国は医療費助成を実施しているが、一定の抗ウイルス療法に限定され、肝硬変・肝がん患者の入院、手術等は助成外となっており、早急に基準の緩和、見直しを行うよう政府に対し意見書の提出を請願する。

◎意見書 提出者：南九州市議会

- 1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。
- 2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

○提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣

全員協議会

当局より説明のあった件（平成26年9月26日開催）

競輪場外車券の販売

オートレース川辺における競輪場外車券の販売に伴う熊本市との協定について説明がありました。

競輪場を経営する熊本市と協定を結ぶもので、地元協力の協定として交通安全、環境美化の確保、防犯及び青少年保護等について両市が協議して対策を講じることとしています。



浪華合成株式会社の立地予定地

2つの企業が新たに立地

本市へ2つの企業が、新たに立地を予定しています。

1 企業名 かぶちゃん流通株式会社
所在地 東京都千代田区
施設名 かぶちゃん流通株式会社穎娃工場
予定地 穎娃町御領
事業内容 安納芋を使用した干し芋等の製造
新規雇用 10名

2 企業名 ^{なにわ}浪華合成株式会社
所在地 大阪市城東区
施設名 浪華合成株式会社九州工場
予定地 知覧町永里
事業内容 プラスチック成形品の製造、販売
新規雇用 10名

◎その他の案件

南九州市立穎娃准看護学校の民間移管に係る公募等に関する要領等について

◎議員定数等調査特別委員会を設置

本市議会は、議員の定数及び報酬等について調査するため、9月議会最終本会議で南九州市議会議員定数等調査特別委員会を設置しました。

今後、近隣市の状況を踏まえ定数等を協議決定し、次回の市議会議員選挙から適用される見込みです。

○近隣市の定数状況（26年9月1日現在）

- ・南九州市 22人（人口：36,670人）
- ・南さつま市 20人（人口：36,044人）
- ・枕崎市 16人（人口：22,342人）
- ・指宿市 20人（人口：42,748人）
- ・日置市 22人（人口：49,653人）

◎専決処分事項の指定

本市議会は、地方自治法の規定による専決処分事項の指定について議員発議により上程し、これを可決しました。

これは、迅速な問題解決を図る必要がある案件や市民の負担が軽減されるような軽易な事項等については、議会の議決を経ずに地方公共団体の長が専決処分することができるものです。

- ・100万円以下の法律上、市の義務に属する損害賠償の額を定めること並びにこれに係る和解及び調停に関すること。
- ・市営住宅に係る家賃等の請求及び明け渡しの請求に関する訴えの提起、和解及び調停に関すること。
- ・市の債権の徴収に係る訴えの提起、和解及び調停に関すること。

変化に的確な対応を!

一般会計歳出総額 220億8341万円

平成25年度一般会計、特別会計及び企業会計の決算認定が9月定例会に上程されました。

議会では、一般会計決算特別委員会と特別会計決算特別委員会を設置し、監査委員の決算意見書及び提出された決算関係資料をもとに執行部の出席を求め審査し、いずれの決算も認定しました。

一般会計

平成25年度一般会計決算収支の状況については、歳入総額228億1701万1千円、歳出総額220億8341万7千円、翌年度へ繰り越す財源5874万1千円を差し引いた実質収支は6億7485万3千円の黒字決算となっているが、少子高齢化が進む中、人口減少は深刻な社会問題となっている。今後も限られた財源を最も効果的に活用して、住民福祉の向上に努めるよう要望した。

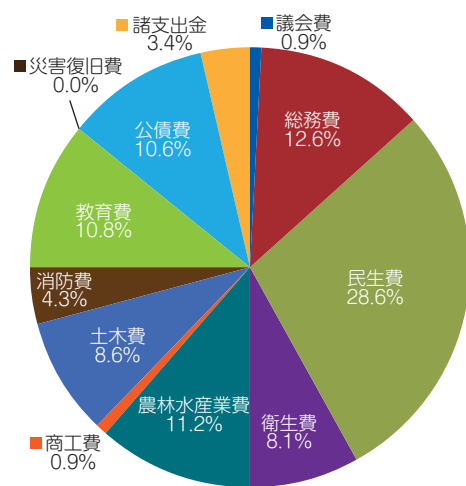
歳入

自主財源のうち市税の収入額は34億8979万9010円で、前年度比7660万4千円の増である。依存財源のうち地方交付税は90億3038万3千円で、21%の減となったが、国庫支出金、県支出金の大幅な伸びに支えられ、前年度に比べ9億8155万2千円の増となっている。税の徴収率は、95・1%で県内でも高い徴収率を誇り、職員の努力を高く評価する。今後も、税負担の公平性を確保するため、徴収体制の強化に努めるよう要望した。

(単位：千円)

一般会計歳入総額	22,817,011
一般会計歳出総額	22,083,417
実質収支額	674,853
地方債現在高	22,807,841
積立金現在高	8,977,318

歳出



歳出の構成比

企画費

問 拠点間バスと生活交通バスの乗車人数は。

答 拠点間バスが2万426人で生活交通バスが3万2733人の合計5万3159人である。

問 路線見直しについて、常時行っているか。

答 地域公共交通協議会において、27年度からの運行について検討中で、今後も長期的視点から見直す。

児童福祉費

問 延長保育に伴う職員

数の配置及び保育時間の基準は。

答 職員数は、国の基準により現在は2人以上となっている。市内の保育所の保育時間は30分延長と1時間延長のみであるが、国の制度上は2時間延長、場合によっては3時間延長も可能である。

農地費

問 耕作放棄地が減少しているが、24年度に比べ減少した面積は。

答 624ヘクタールに対し、25年度は594ヘクタールで、30ヘクタール減少している。

土木費

問 里道整備について、住民の高齢化に伴い個人負担が増加すると、環境整備が進まない大きな要因になるか。

答 26年度に、南九州市里道の整備に関する要綱を策定し、市道の機能を果たしている生活道路については、市が100%負担で行っている。

審査の中で

予算の編成・執行は、事業内容、執行時期ともに、概ね適正に執行されているが、27年度から組織機構が再編されることから、関係課等との連携を更に密にし、適正かつ効果的な予算の編成及び執行に努めるようとの意見が出された。

委員会としては、今後到来する交付税の一本算定を見据え、更なる行財政改革を進め、地域社会の情勢変化に的確に対応しながら、最小の経費で最大の効果を発揮し、住民福祉の向上と財政の効率化が図られるよう要望した。

25年度 決算認定

社会情勢の

特別会計

国民健康保険事業

保険税収納率は前年度に比較すると0・18%増。国保税の収入未済額は6・62%減となっており、調定額に対する徴収率は86・11%となっている。

なお、24年度から一般会計より法定外繰入をしており、25年度は1億7000万円繰り入れた。

問 不納欠損額の内訳は。

答 約1300万円あり、経営不振22人、居所不明8人、生活困窮3人、その他40人程度で、訪問や催促状を送付するなど対策を講じている。

～審査の中で～

国が都道府県単位への移行を進めている平成29年度までの間、国の動向等も見守りながら、引き続き生活習慣病及び疾病予防の取り組みを強化するとともに、今後継続して国に新たな施策等について要望すべきとの意見が出された。

後期高齢者医療

問 被保険者数の推移は。

答 本市人口の約22%で、市全体の人口減少に連動する形で減少している。

介護保険事業

高齢者元気度アッププロジェクト事業については、

事業評価を行うこととしており、事業に参加した人の中で要介護の恐れのある12人が介護状態にならずに済んだと推計され、また、介護保険料が一人当たり月13円の抑制効果が試算された。

問 認知症の人口と徘徊対策は。

答 65歳以上の10・2%に当たる、約1355人と推測される。

徘徊対策については、徘徊SOSネットワーク事業を展開し、徘徊の恐れのある方を事前に個人登録し、警察・消防・自治会長・民生委員に名簿を渡し、捜索や見守りに役立ててもらっており、26年8月末で33名が登録

されている。

簡易水道事業

建設改良費は、穎娃地域谷場簡水施設整備工事や熊ヶ谷地区配水管拡張工事、川辺地域柳水源地発電機取替工事、下山田地内配水管布設替工事などを実施。

農業集落排水事業

水洗化率は知覧垂水地区で90・22%、川辺東部地区で92・28%となっている。単独処理浄化槽を使用している世帯については、随時公共下水道への切り替えを依頼しているが、高齢者で後継者がいない世帯については、加入促進が困難な状況となっている。

公共下水道事業

知覧中央浄化センターの維持管理費や管渠、マンホールポンプの維持管理費が主な事業費で、水洗化率は93%ある。



知覧中央浄化センター

水道事業

・拡張費
施設拡張工事として中部簡水瀬世向地区配水管拡張工事、口径拡張工事として野崎及び田部田地内配水管布設替工事
・改良費
南部簡水配水管布設替工事上木原地区ほか14件の工事

特別会計・企業会計決算額

(単位：千円)

区 分	歳 入	歳 出	差引残額
国民健康保険事業	6,407,428	6,337,344	70,084
後期高齢者医療	531,040	528,645	2,395
介護保険事業	4,566,108	4,491,423	74,685
簡易水道事業	546,024	533,870	12,154
農業集落排水事業	77,258	75,796	1,462
公共下水道事業	180,816	176,514	4,302
合 計	12,308,674	12,143,592	165,082
水 道 事 業			
収益的収入及び支出	340,704	322,047	—
資本的収入及び支出	4,814	128,582	—

市民の声を 行政に問う

一般質問

12人が登壇

議会会議録はここで
見れます

- ◎校区・地区公民館
- ◎市立図書館
- ◎ホームページ(南九州市)

内園 世界記憶遺産登録を目指していた「知覧からの手紙、知覧特攻遺書」は国内候補から外れた。申請するからには、一方側からだけの見方ではなく、他の視点から見ても共感を呼ぶようなまとめ方、出し方が重要と指摘されました。再度申請するにあたり、どのような考えか。

市長 今回の審査結果を真摯に受け止め、有識者やアドバイザーの意見を聞き、申請内容を検討し資料の劣化防止対策や保存管理計画策定を行い、2017年の登録に向け



内園 知恵子 議員

世界記憶遺産

再度申請するにあたりどのような申請にする考えか

市長／2017年の登録に向けて取り組む

て取り組む。

網戸のない市営住宅等の対応を問う

市長／要望があれば設置している

内園 施政方針で「快適な住環境を維持するため適正な維持管理に努める」と述べている。網戸



網戸のない市営住宅

その他の質問

◎川内原子力発電所再稼動

のない川辺地域17戸・額娃地域6戸の住宅等への対応を問う。

市長 現在、網戸のない市営住宅は、既に耐用年数が超過している。新たな器具等の設置は行わず、既存の施設の維持管理に努めている。しかし、地球温暖化など住宅を取り巻く環境の変化や入居者の身体的負担を考慮し、要望があれば設置している。

空き家対策

解体費を支援する考えは

市長／取り壊しに対する支援は考えていない



加治佐 民生 議員

加治佐 平成21年に空き家の実態調査を実施しているが、その後に取り組んだ空き家バンク制度をはじめとする対策等について実績を示せ。

また、老朽化し取り壊す必要のある空き家対策が課題となっていると思うが、取り壊しに対する



市道沿いの危険家屋

支援は考えられないか。

市長 平成22年度から「空き家バンク制度」を設け、これまで63件の登録があり、取引成立件数は売買が25件、賃貸が19件、計44件、現在交渉中が4件となっている。老朽化し取り壊す必要のある空き家の取り壊しに対する支援については、国の「空き家対策特別措置法案」の成立や県の取り組み内容など注視しながら、

ら、実効性のある制度を検討し、空き家の管理条例化に向けて取り組んでいき、その中で取り壊しに対する支援についても検討している。

現在のところ、取り壊しに対する支援は考えていない。

仏壇振興

新商品開発に

支援する考えは

市長／国県等の有利な助成制度など情報提供する



西 次雄 議員

西 本市の仏壇産業は、需要の低迷や外国部品使用による対外的な競争力の低下などで、現在最も低迷しており危機的状況である。そこで7工程で新商品開発等を持続的に支援する考えはないか。

市長 新商品開発支援については、新商品販路開拓・開発支援事業や仏壇技術を駆使した新商品開発など実施しており、今後も仏壇販路対策支援事業補助金の活用や国・県等の有利な助成制度などの情報提供を積極的に行う。

薬用植物の作付け推進の考えは

市長／関係機関と協議しながら検討したい

西 現在国は、漢方薬の原材料となる薬用植物の国内生産拡大に向けて

取り組んでいる。漢方薬の8割は中国産であり、良質な国産薬草が不可欠で、薬草の種類によっては労力も軽微で、高齢者の健康づくりや耕作放棄地防止にも繋がることから、作付けを推進する考えはないか。

市長 生薬の輸入価格は上昇しており、耕作放棄地の活用や中山間地の活性化に繋がることから、関係機関と協議しながら慎重に検討したい。



第7回南九州市工芸品創作技術コンクールの作品

太陽光発電

支援事業の現状と 今後の対応は

市長／26年度以降は行わない



東 兼喜 議員

東 住宅用太陽光発電施設の設置、稼動の状況は。

市長 国県の支援に加え

本市の支援事業によるシステム設置状況は、平成23年度84件、24年度151件、25年度153件、3カ年で394件、容量は約2000キロワット。また、26年度7月現在で48件合わせて442件で容量は約2300キロワット。稼動状況は、3カ年の394件の公称最大出力数は、約2000キロワットで設置箇所及び気象条件等を考慮し1キロワット当たり年間発電量を1000



住宅用太陽光発電

キロワットと仮定、市全体では年間200万キロワットが発電され、一般家庭約394世帯の一年間の電気量に相当すると推計している。

東 本市の導入支援事業

の現状と今後の対応は。

市長 支援事業額は、平

成23年度から25年度までの3カ年は、394件で補助金4591万5千円。今年度は7月末現在で、48件550万2千円。合計で442件、5141万7千円交付している。今後の対応については、国の制度に連動する制度であり、平成26年3月末受付分で終了するため、本市も受付を行わないこととした。

その他の質問

○図書館運営

ラジオの難聴対策について

市長／放送局等に対応をお願いしたい

難聴対策



田畑 浩一郎 議員

田畑 ラジオの難聴地域がみられるが、実情を把握しているか。また、今後解消に取り組む考えはないか。

市長 日常生活や災害等による停電時など、ラジオ放送は、情報の取得のために大きな役割を果たしている。



市内全域の状況までは把握していないが、災害時における非難予定の場所65カ所について調査している。調査の結果は、すべて放送が受信できるが、一部放送が聞きづらい所がある。市としても地域一帯の難聴について調査を行い、必要により放送局等に、改善に向けた技術的な対応をお願いしたいと考えている。

市民後見推進事業に取り組む考えは

市長／検討する必要があると考える

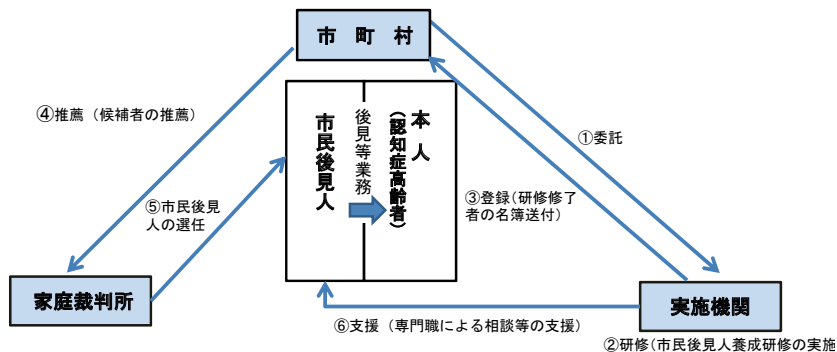


吉永 賢三 議員

吉永 「超高齢化社会を迎える中で、住み慣れた地域で安心して生活できるように福祉ネットワークの連携を促進し、より充実した支援体制づくりを進める」と施政方針で述べている。市民後見推進事業に取り組む考えは。

市長 認知症高齢者や一人暮らしの高齢者の増加に伴い、成年後見制度の必要性は一層高まっておりその需要は増大することが見込まれる。地域の実態を把握しながら、事業への取り組みを検討していく必要がある。

市長 地域の後見ニーズ等の実態を把握するとともに、専門職や各団体と連携を図り、地域にあった取り組みを行うことが重要である。後見実施機関を設置することも必要といわれているので、検討委員会等においても今後、各関係団体や専門職の意見を聞き検討していく。



市民後見人を活用した取組例のイメージ

TPP

想定される

影響額を示せ

市長／89億4千万円程度



亀甲 俊博 議員

算に編入しなければならない」と規定されている。学校給食費は、市の予算に計上されず、私会計で処理されている。私会計で行う必要があるか見解を示せ。

市長 私会計による給食物資の発注、契約事務等の簡素化が図られていることなどから、現在運用している私会計で管理していく。

その他の質問

○共生・協働のまちづくり

給食費会計の見解は

市長／私会計で管理していく。

亀甲 地方自治法第210条では、「収入支出はすべてこれを歳入歳出予



影響が懸念される米作

本庁舎建設

建設場所の検討は

市長／今は検討していない



竹迫 毅 議員

らの次期総合計画の中で場所の検討に入ることが望ましいと考える。
竹迫 個人的には本市の地理的中心に近く、南薩縦貫道も近くを通り、面積も1ヘクタールある、

その他の質問
○知覧小学校の太陽光発電

現在茶業課が設置されている知覧農業振興センター敷地が適地と思うかどうか。

市長 候補地の一つと位置づければよいと思う。

市長 新庁舎の建設は将来においては必要なことと判断している。現在、進めている各庁舎の耐震補強工事を実施し延命化を図り、その後規模や用地の検討、財源確保、市民コンセンサスを得る必要があると考える。
建設の用途を約15年後としているが、位置の検討はしていない。平成40年の建設を目指していることから、平成30年度か



現在の知覧庁舎

市有地

分譲する考えは

市長／再度協議を行いたい



蓮子 幹夫 議員

蓮子 子育て世代の住民が土地を求めやすいように、空き地となっている市有地を分譲する考えは。
市長 市有財産の中には行政目的が喪失し、利用計画も定められていない土地、長期にわたって事業着手がなされていない土地などが数多くある。



利用されていない市有地

南九州市市有財産活用等検討委員会を設置しており、公有財産の処分等について財源確保を図ろうと審議している。設置した当時とは情勢変化もあるため、再度協議したい。

人口減少に対する施策を示せ

市長／継続的に取り組む

蓮子 合併後、想像を超える速さで進んでいる人口減少に対する施策を示せ。

市長 人口減少対策として、総合計画基本計画において「移住・定住促進対策」を重点プロジェクトに掲げ、6施策を総合的に展開し全庁的に取り組んでいる。人口減少に歯止めをかけるための打開策を見出すことは難しい状況である。
各施策を連携させ長期的視点から継続的に取り組んでいく。

ネット依存

青少年のインターネット依存対策は

教育長／フィルタリングや家庭内ルールを設けるよう指導



蔵元 慎一 議員

蔵元 スマートフォンの普及が進む中、青少年におけるインターネット依存が社会問題となっている。現状と今後の対策を問う。

教育長 平成25年度全国学力・学習状況調査によ



インターネットを利用する小学生

ると、一日に4時間以上インターネットを利用している本市の小学校6年生の割合は0%、同じく中学3年生の割合は3.7%となっている。全国における6年生の割合が3.0%、中学3年生の割合が9.5%であり、数値的には本市の子供たちの利用率は低い。しかしながら、インターネットに触れる環境が整ってきていることから、県教育委員会が

作成したインターネットの安全な利用の仕方を示したリーフレットや映像資料などで指導啓発を行っている。保護者に対してもフィルタリングの重要性や利用時間の家庭内ルールを設けるなど、理解と啓発を推進している。

その他の質問
○市道管理

農業振興

所得向上対策と

組織再編計画を示せ

市長／各種施策を実施し管理機能の一元化を図っていく



伊瀬知 正人 議員

伊瀬知 本市は、南の食料供給基地と位置付けているが、農業の生産、流通、雇用強化を図り所得向上対策についてどのような施策を講じているか。

市長 就農後の経営安定支援に努め、農地の集積集約化を図り、生産者の顔が見える販売体制を確立しながら、雇用対策については、国の支援制度の農の雇用事業により就農促進を図る。

伊瀬知 27年度から第2次組織機構再編計画での農林部の組織体制はどのようなになる計画か。

市長 農林水産部においても、組織のスリム化・効率化に努め、総合支所方式の弊害として懸念



6次産業化に取り組む事業所

される組織の肥大化による問題を解消するため、課・係の統廃合を進めていき、本課への集約による指揮命令系統や管理機能の一元化の確立を図っていく。

スマートフォン

フィルタリング設定を 含めた対応は

教育長／設定率100%を目指
して進めていく



深町 幸子 議員

も多発している。
フィルタリングは、イ
ンターネットに生産・流

通し続ける有害情報を排
除することができる極め
て有効な手段である。そ
の設定については、子ど
もに携帯電話を所持させ
る保護者の責任におい
て、設定率100%を目
指した理解と啓発を進め
ていきたいと考えている。

深町 インターネットに
接続できるスマートフォン
が急速に増加し、平成
25年の児童生徒の所持率
は県教育委員会の資料に
よると前年の1.5倍に急増
しているが、本市の現状
はどうか。また、ネット
依存の危険性から子ども
を守るため、フィルタリ
ング設定を含めた対応を
問う。

教育長 本市における携
帯電話、スマートフォン
の所持率は年々確実に増
加している。今や、ネッ
ト依存が問題化している
とともに、子供たちが巻
き込まれる事件・事故等

■ブラックリスト方式

子どもにとって不適切な情報
サイトやアプリへの接続を
制限する。

出会い系、アダルト
ゲーム、違法情報
違法薬物、自殺誘因
暴力、残酷表現 など

注！ 接続制限されていないサイトであっても
不適切な内容を含むサイトも多数ある。

■ホワイトリスト方式

子どもにとって安全と思われ
るサイトやアプリのみ接続で
きる。

OK! 携帯電話事業者により
安全なサイトとして
認められたサイト

注！ 不適切なサイトでなくても、認定サイ
トでなければ、接続できない。

※事業者によっては、発達段階に応じた制限（小・中・高校生レベルなど）を設定しているところもある。

フィルタリングの方式

議会を 傍聴してみませんか。

次の議会は **12月2日(火)** 開会予定

“手続き簡単”本館2階で住所・氏名を書くだけ



12月定例会

- | | |
|--------|-----------------|
| 11月25日 | 議会運営委員会 |
| 12月2日 | 本会議（委員会付託・一般質問） |
| 12月3日 | 本会議（一般質問） |
| 12月4日 | 本会議（一般質問） |
| 12月5日 | 常任委員会 |
| 12月12日 | 本会議（補正採決） |

市民と議会の意見交換会

10月21日(火)から10月23日(木)までの3日間開催

参加者：額娃会場38人 川辺会場32人 知覧会場49人

市民参加や情報公開など開かれた議会を進めるため、はじめての意見交換会を3地域で開催しました。議会運営委員長による議会基本条例の説明のあと、担当議員から9月定例会について報告があり、各地域2項目のテーマについて意見交換を行いました。

市民の皆様からのご意見・ご要望等

額娃地域内の中学校の在り方について

【額娃会場】

・知覧地域では約30年前から学校の再編、適正規模について語られてきていた。人口が減少していくのは分かっていたのに議論が遅いのでは。

・額娃地域の3中学校で生徒数331人、教員44人、知覧中学校が生徒数322人で教員25人。同じ生徒数で教員が19人も多い。単純に500万円の給料としても約1億円の削減になる。
・現状ではクラブ活動ができない。専門の教員もいない。
・火葬場の横に中学校を建設するという話はあるのか。



・既存の中学校を利用する案と新たな場所に建設する案と二つの選択肢があると聞く。財政的に考えて、費用も倍かかるといふのに、新たな場所に建設するという選択肢があること自体が理解できない。
・統合中学校開設準備委員会の30人の人選は非常

に影響があり大きなことと考える。人選については、居住地や職種など公平性のある配慮を強く要望する。

・知覧、川辺は中学校を統合した時に何も問題はなかったか。統合する前に各学校との交流を図るような施策に予算措置してほしい。

・通学においては公共交通機関が利用できるようにしてほしい。

・少子化だから統合するという事だけでは何の解決にもならない。子どもの教育条件等について何が一番いいのかということとを考慮して議員間でも勉強して考えて欲しい。

南九州市議会議員定数について

【額娃会場】

・現在の定数22人について議員は適正と考えるのか。10年、20年先を見据えたしつかりとした目で議員数や行政の職員数について考えてほしい。
・隣の南さつま市が本市

よりも人口が10000人程度少なく20人ということであれば見解は見えてくるのでは。しかしながら単純に減らせばいいというものではない。
・はっきり言って私たちが議員定数については語れない。

その他の意見

【額娃会場】

・テーマについて固定されていたが、地域からの切羽詰った問題とかを引き出して、その問題について意見交換したい。



額娃会場のようす

少子化に伴う学校再編について

【川辺会場】

- ・ 一学年に5、6人いれば複式は逃れないものの、再編はしなくてもよいと思っていたが、1、2人となってくる現状では、真剣に考えなくてはならない時期にきている。議会も前向きに考えていたきたい。
- ・ 小学校が無くなれば地域の文化が無くなり、ますます過疎化が進む。地域から子どもの声が聞こえなくなるため、基本的に統廃合は望ましくない。
- ・ 神殿校区では、児童数増に向けて山村留学などに20年間取り組んで来ているが、現状はデータで見ると以上に厳しい。子ども達の将来や地区が更によくする方法を考えたときに、統合はむしろ有利との思いである。
- ・ 移住定住対策については、企業との連携や企業誘致を本気でやれば可能性があると思う。例えば、複式学級がある校区を特

別区に指定して、移住定住促進対策補助金の上限を80万円から200万円に引き上げるなど。

- ・ 昭和58年に瀬戸山の小学校が廃校となった。旧瀬戸山校区から清水校区へ移住してきたときは小学生が60数名いたが、今は20名となり、当時は清水に来たら大丈夫だなど思っていたが、現状は瀬戸山のようになってきた。統廃合については子ども達や子を持つ親に判断してもらった方がいい。
- ・ 学校をなくしていくというところは地方が崩れていくということである。



- ・ 手裏小学校は特設校で、小規模校ならではの教育が実践されている。特色ある地域の素材や父兄の力を借りながら、今こそ学校づくりを考える時期である。

南九州市議会議員定数について

【川辺会場】

- ・ 現行の議員数がいないと政治はできないか。できないかと思っている方もいれば、こんなにはいらないのじゃないかと思っている方もいるのでは。私はまだ減らしていいと思う。
- ・ 住民の意見を最大限尊重する形にするには少人数であってはならないと思う。議員、得手不得手もあり、定数を減らすことにより1議員がまかなっていけない状況になっては大変なことだろうと思うので、少なくとも現行より減ることは良くない。
- ・ もう少し少ない議員数で報酬を上げれば、質の

- 高い議員活動ができるのではないか。
- ・ 合併して大きなまちになり、周辺部は取り残された気分になっている市民もおられるのではないかと思います。そういった意味からも市民の声を市政に反映させていくことが求められているときだと思っているので、増やしてもいいのではという気もする。
- ・ 一般質問の状況から、市民を代表して発言をしていると思うし、活発にやっている。皆さん強い思いがあり、それを市勢

- 発展にどう結びつけるかという問題を詰めていけば、必ず成果があると思うことから、現状の22人でもいい。
- ・ 甬島の例だが、議員は自治会代表のような存在であったのが、今は合併で1人いるかないかである。議員定数を減らせば減らすほど、過疎化が一段と進むのではないかと思う。
- ・ 議員定数は現行より多くても少なくともどちらでもよい。要は議員が何をしたかだと思う。



川辺会場のようす

定住促進対策について

【知覧会場】

- ・ 出生祝い金を第2子からではなく第1子からにすればいいのでは。
- ・ 農業者研修制度については、原則4月からの受入としているので、随時受入とすれば研修生の増加に繋がる。
- ・ 移住を考えている人にとって南九州市のホームページは情報が検索しにくい。大幅な改善が必要だと思う。
- ・ 転入してきたが、どこに何科の病院があるのか、また、保育所や小学校がどこにあるのかわからない。届を提出した時に地図でわかるような冊子がほしい。
- ・ 意見交換会は年に複数回行ってほしい。また、市内には3つの高校があるが、これからの将来を担う若者との意見交換会を実施して意見を聞いてみたいと思う。
- ・ 教職員住宅があるが、空いている箇所が結構ある。先生方の居住をどう

にできないか。自分たちの若いときには必ず近くに先生がいた。

・自治会が活性化していると感じたことはない。色々事業は展開していると思うが、我々には伝わってこない。もう少し自治会に足を踏み入れて現実をもっと見ていただきたい。

・水洗化されていない市営住宅がある。トイレを水洗化すればもっと定住者が増えると思う。

・学校の給食費について無料とまでは言わないが助成は考えられないか。

・徳之島空港は子宝空港と言われ、出生率の高い地域である。南九州市を上回る産業があるとは思えないが、そういった所の取り組み事例を調査するなり、研修に行つて実践することで何かのアイデアが生まれると思う。

・若者の住まない地域の振興は見込めない。

・田舎暮らしをしたいと考えている方はたくさんいる。都会の裕福な年輩の方を本市へ引っ張り込

めばいい。

・農業のまちとして多彩な食材がある。6次産業化を推進して付加価値を付け、本市特有の産品を開発できるように取り組んでいただきたい。



知覧会場のようす

少子化に伴う学校再編について

【知覧会場】

・再編の計画があれば教えていただきたい。

・学校の再編について何か基準があるのか。

・少子高齢化で地方が疲弊していく中、現状をどう打開するか、市民の生の声を届けることが大事。

その他の意見

【知覧会場】

・先日の台風時に避難準備情報が出ていることをインターネットで知った。

・無線が聞こえないときの対応はどうするのか。

・グリーンツーリズムの担当部署が4月から商工観光課に移るとのことだが、3地域分をまとめて相談できる場所と専属の係を設けて欲しい。

・意見交換会を校区単位で実施してほしい。参加議員は地元選出の議員で構わない。

・子育て支援が大切。医療費については病院窓口で無料にしてほしい。

・若い人たちが安心して農業が出来るよう価格保障制度を充実してほしい。

・住宅リフォーム助成の拡充をしてほしい。

・地域そのものを福祉施設にするような取り組みはできないものか。

●アンケートの結果

Q 今回の意見交換会のテーマはいかがでしたか。

関心があるのでよかった (51) 参加により関心がもてた (29) ほかのテーマがよかった (5)

Q 今後、意見交換会が開催された場合、参加しますか。

ぜひ参加したい (42) 内容によっては参加してもよい (54) たぶん参加しない (3)

Q 議員定数について、どうお考えですか (現在 定数22人)

現状の定数でよい (31) 増やしたほうがよい (3) 減らしたほうがよい (60)

【内訳】15人 (4)、16人 (1)、17人 (2)、18人 (21)、20人 (21)、22人 (31)、24人 (2)

Q 今回のテーマ以外で、どのようなテーマに関心がありますか。(抜粋)

- ・定住促進対策について
- ・子育てについて
- ・少子高齢化対策について
- ・医療費について
- ・テーマは設けなくてよい
- ・議会のあり方について
- ・人口増対策について
- ・南九州市の産業振興、育成について
- ・地域経済の活性化について
- ・企業誘致について
- ・頤娃地区の今後の展望と頤娃高校について
- ・J Rの存続について
- ・農業所得の向上について
- ・本庁舎の一本化について
- ・庁舎建設について
- ・均衡ある発展のための総合支所方式の充実について
- ・地域の魅力を引き出す方策について
- ・校区公民館を活かした地域づくり
- ・自治会の合併について
- ・地域創生の施策について
- ・学校再編について
- ・子ども教育について

意見交換会にご参加いただき、大変ありがとうございました。今後はアンケートやご意見をもとに開催時期、回数及び場所等について検討し、より多くの方が参加できるよう努めます。

また、皆様からいただいた貴重なご意見はよりよい南九州市づくりのために今後の議会活動に反映させたいと考えます。

市

民

の

声



知覧町 郡

深田 豊秋

じいちゃん
ばあちゃんから子へ

「核家族」という言葉を耳にするようになって久しい。戦後の日本が高度成長という道を歩んできた結果生じた世相の一面でしょう。そしてこれが、世界に誇ってきた「日本人の心」を失ってしまった一因になっているように思います。

二、三代目が一緒に暮らしていた頃は、子育てから開放された親が自分の子と孫のかかわり合いに接した時は、「こんな時自分はどういうにしているのか、その結果はどう

なっているか」を冷静に振り返り、自分の失敗を子が繰り返さないようアドバイスしてくれました。

また、親になった子の相談相手でもありませんでした。核家族化とは子が親の失敗から学ぶ機会を失い、その結果、心の停滞を招いている原因の一つになっているのではないかと思います。

子育て時代の自分を振り返り、今にして思い当たることを娘に伝えてきました。それらが娘の役に立っているようです。日本は人だけが資源だと言いつつ、毎日が人の指示通りにしか動かないロボットのように動いているの場ではないか。子ども達に関する施策の中に子育て世代とその親たちが交流し、互いに学び合う場を作りたいものだと思う昨今です。



頤娃町 別府

崔 恵里香

帰りたいくなる故郷に

中学生まで頤娃町で育ち、色々な都市を転々としながら、就学、就職、結婚、出産を経験し、今度は自分が親となって13年ぶりに生まれ育った町に帰ってきました。元々都会で育った主人が「農業をしたい」と言ってくれたからです。そう言ってくれた主人には感謝ですが、正直、地元に戻ることにためらった自分もいました。

やはり最初に頭に浮かぶのは、子どもが急に病気になる？近くに公園や安心して遊べる場所

はあるか？また、子どもを預けられるようになつたら働く場所はあるか？など、様々なことが頭を過りました。

もう少し交通の便が良く、あるいは商業施設が充実しているなど、便利な暮らしができればもっと安心して帰って来られるのになと思います。

私のように地元を離れ都会に出た人が「地元に戻って暮らそう」と思った時に、家族や子どものことを考えるのは当然のことと、安心してついでに帰る環境があればなお良いのではないのでしょうか。

もちろん、農業や自然など田舎の良さは大いに残して欲しいと思います。私たちのような子育て世帯が地元に戻ってきたくなるような町づくりについてもぜひ話し合っていたきたいと思っています。

議会中継に向け 先進地を調査

本市議会は、市民の負託にこたえ、開かれた議会を実現するため、行動原則として議会基本条例を制定しております。

議会運営委員会は、開かれた議会の実現と実践を目指し、委員長ほか6名の委員で、5月15日から17日、西脇市、丹波市、福知山市において、議会中継の取り組み状況やシステム概要など、議会中継に向けて調査しました。

調査結果及び委員会の方針を全員協議会に報告し、議会として平成27年度から議会中継に取り組むことを確認しました。



編集後記

朝夕めっきり涼しくなり、田畑では収穫の秋となりました。

今年の天候は不安定で農作物の作柄は悪く、また、本市特産のお茶の価格も低調で、市民の生活にも活気が見られない。

このような沈滞した時期、日本全国、特に南九州市にとって明るいニュースが報じられた。知覧出身で名城大学終身教授のノーベル賞授与である。赤崎勇先生は「諦めない心」で研究を続け、青色発光ダイオードを開発された。

大先輩を誇りに思い、我々も信念を持って市政に取り組み、市民目線の議会運営に努めたい。

(塗木)

▼広報編集委員会

委員長 西 次雄
副委員長 吉永 賢三
委員 塗木 弘幸

松久保正毅
蔵元 慎一
内園知恵子